

# 留 学 報 告 書

平成 年 月 日

学 部 生物資源科学部 生態環境科学科

氏 名 平川 愛

※ 留学先大学での成績証明書を添付すること。（島根大学に直接送付される場合はよい）

1. 留学先大学・学部 国名 中国

大学名 北京師範大学

現地到着日（ 2014年 8 月 31 日） 授業開始日（ 2014 年 9 月 9 日）

現地出発日（ 2015 年 6 月 29 日） 授業終了日（ 2014 年 6 月 11 日）

2. 日本を出発するまでの主な手続き及び準備

主に国際交流課からの指示のもとに必要書類を揃える。滞在先での寮の予約や航空券（オープンチケットなど）を取る

3. 自宅から留学先大学までの交通手段（乗物の種類、乗り換え地、所要時間）

大分～福岡空港 車 約2時間 福岡空港～仁川空港（韓国）～首都国際空港（北京） 飛行機 約5時間 首都国際空港～北京師範大学 タクシー 約1時間

4. 留学先大学での各種手続きの仕方

夜中の12時頃に大学に到着し、寮の手続きをする。何を言っているかわからなかったが、パスポートを見せる。翌日以降、先に日本でもらえる資料でいつ、どこで、何があるかを確認しておく（校内の地図もある）。登録の日には、登録場所で日本人会の方々が色々お世話してくれる。クラス分けテストを受け、結果を見て、教科書を買いに行く（第一寮である）。

5. 留学生へのオリエンテーションの内容及びプレースメントテストについて

入学式後の午後から留学生全員で運動会がある。そこで初めて、他の日本人留学生を知り、他の国の留学生と色々なゲームをして交流する。私の時はその夜に、日本人の新入生歓迎会もあり、同じテーブルの日本

人留学生と少し他の人と交流を持った。

---

テストは、マークシート形式であり、リスニングが全くわからなかった。終わるとすぐ、点数ごとに振り分けられ口頭試験の教室を伝えられる。色々簡単な質問をされ、紙に書いてある文を読まされる。私の場合、大学はどこかと聞かれたが、それすらも答えられなかった。もしクラスのレベルが低いと思ったら、テストを受けクラスを上げる事もできる。

---

#### 6. 授業の受け方、ペーパー及び試験の傾向等について

クラスは100, 101, 102, 201, 202, 301・・・とレベルごとに分けられ、大体の日本人は初め、101～201にいる。私は前期は101 - 05クラスだった。读写, 会話, 听力 という三つの授業があり、初めはほとんど解らなかったが、读写の先生は英語や身振り手振りを使い、分かり易く説明してくれた。主に教科書に沿って進め、授業の始めには前回の復習を必ず行う（基本みんな当てられる）。中間テストまでに1課～6課、期末テストまでに7課～MAX 15課を学ぶ。試験は教科書に沿って単語や穴埋め問題、読解、作文がある。会話は口頭試験、听力はリスニング。後期は102 - 04にあがり、报刊という授業が増えた。主に新聞記事を読み、発表し、みんなで討論する授業である。この授業もテストは教科書から出題される。

---

#### 7. 留学先大学で学んだ科目のうち特に良かったもの、後輩に勧めたいもの

特にはないが太極拳は少し面白そうだった。

---

#### 8. 留学先大学の住居の種類等について、後輩にどのような寮・アパートを勧めるか

ルームシェアをしたい場合・・・兰蕙公寓は少し教室から遠い（徒歩15分程）が自転車があれば問題ない。大体の人は歩いている。周りにはスーパーや便利なお店が多い。寮を出たらすぐに一番綺麗でみんなが行く食堂がある。新松公寓は教室から近い。図書館も近い。第三寮は綺麗で一階にはマックと小さなスーパーがあるので困らない。バス停も近い。

---

一人部屋が良いなら第二寮、第三寮。第二寮は少し安いのでかなり人気。予約の日には五分以内で部屋がなくなるため、予約開始したらすぐにクリックする勢いでないといけない。一つの部屋に2つ部屋がある形式なので、正方形の方の部屋を選んだほうが良い。第三寮の一人部屋、もしくは一つの部屋に二つ部屋がある一人部屋も結構人気なのですぐなくなる。

---

第二寮は比較的緩いので友達を呼びやすい（兰蕙公寓はかなり厳しい）。さらに周りにご飯を食べるところもあるので便利。教室までは徒歩10分だがそんなに遠くない。しかし、学校内の安くて美味しい食堂やスーパーが遠いのが残念である。多くの日本人留学生は第三寮に住んでいる。

私の場合、後期は日本から知り合いが多く遊びに来たため、自分の部屋に泊めれるように第二寮を選んだ。

2. 3人も泊めれるほど部屋は広くないが、友人が一人で遊びに来た時にはちょうど良かった。

9. 寮・アパート生活での注意，生活の様子（行事など），困ったこと，ルームメイトとの付き合い方，（いつから入れるのか，寮の開閉，寮が閉鎖中の滞在場所等）

兰蕙公寓の時は韓国人のルームメイトと一緒に生活しました。活動する時間帯が違ったり、生活習慣が違ったりでなかなか打ち解けることはできませんでした。一番実感したのはルームシェアといえど、何でもシェアをするのはやめたほうがいいということです。必要であっても必要でなくてもシェアをしないといけなくなります。あとルームシェアの場合は気軽に電話等も出来ないし、部屋に友達を呼ぶこともあまりできなくなります（ルームメイトによりますが）。お風呂の時間帯や、学校に行く前のバスルームも自由には使いにくくなります。本当に気の合う子やいい子の場合は別ですが、ルームメイトは選べないのでそのような難点があります。寮はいつも管理人がいるので基本いつでも入れます。兰蕙公寓の場合は結構嚴重なので、夜の12時以降は鍵が掛かっており、チャイムを押して管理人を呼んで開けてもらわなければ入れません。後期から住んだ第二寮は、一人部屋ですがルームメイトはいました。けどほとんど顔を合わすことはなく、気軽に過ごすことができました。一度ルームシェアを経験するのは悪くないですが、やはり一人部屋は気楽でいいなと思いました。後期からは前期とは寮が違うため、長期休暇後に移動しましたが、もし長期休暇中に引っ越して住むとしたら、寮費がいつもは75元ですが、120元になると言われました。そのため、私はホームステイをすることにしました。第二寮は比較的警備も緩く、いつ帰っても玄関は開いています。兰蕙の時はクラスメイトが多く住んでおり、欧米系が多かったため、サンクスギビングデーやクリスマスにはパーティーをしました。第二寮は韓国人ばかりです。

10. 留学先での金銭の扱い及び貴重品の管理について

（どのような口座を利用したか，現金とかカードの利用は，自宅からの送金はどうしたか等）

キャッシュパスポートを日本で作り、そこに一気に一年間で必要であろうほどを入金し利用していた。

100万円入れていたが充分足りた。

---

11. キャンパス案内（どんなとき、どこへ行けばよいか等）

---

何かあれば、京師大厦にある留学生办公室か主楼の办公室。

---

12. 現地案内（買物、銀行、レストラン、理髪店、美容院等の様子）

買い物・・・初めて値切り交渉の練習に行く場合は西単にあるお店で。携帯のカバーや強化ガラスなど安く  
ていい。結構な頻度で西単には行っていた。必要なものは基本学校内で揃う。キッチン用品はメニソウとい  
う10元均一みたいな店で買うと良い。メニソウ？メイソウ？は何かと色々揃っていて便利。 銀  
行・・・中国銀行。入学の時に銀行カードも貰える。私はキャッシュパスポートだったため銀行カードを使  
うことはなかった。キャッシュパスポートはATMがある所なら使うことができた。

---

13. 失敗談（どんな小さなことでも）

行ってすぐに携帯を盗られたこと。オープンチケットで取ったこと。もっと中国人の友達と遊べなかったこ  
と。

---

14. 病気になった場合の対応について（医療費はどのようになっていたか、保険等はどのようにしたか）

---

どんな小さな病気でも病院に行っても良い。風邪をひいたら病院に行くと薬をもらえる。熱が出た場合は  
点滴をしてもらえる（中国ではすぐに点滴される）。全て保険が適用される。交通費もでる。100～200元。  
私の場合、不眠症・謎の頭痛によって、いつか病院に通う。 差し歯が欠けてしまい病院に行った時も、  
本来ならば保険は適用しないが何とかしてくれたことも。

---

15. お世話になった方々

日本人会の方々、中国人の友達、ホームステイ先の家族、先生方、病院の方々

---

16. 留学先国内旅行について（場所、手段、費用、旅行社等）

◎哈爾濱 二等座109元 全部で1200元程 個人(学校内の旅行もある)◎無錫・南京 飛行機1200元 友

達の家ホームステイのためそんなにかからなかった。◎山東省 校内旅行1800元 ◎四川（九寨溝，黄

龍）・西安（兵马俑） 飛行機2500元程 全部で5000元程

中国の領事館でビザ申請をして中国からロシアにも行った。

17. 気候と服装について

冬はとても寒い。三月の終わりから2週間ほど春があるが、その後から9月半ばまで夏。夏はかなり暑い。

18. 日本からぜひ持っていきたいもの（学用品，衣服，食品，薬，運転免許証等）

・電子辞書・服は中国で買ってても良い。・薬は病院に行けば貰える。・免許証は使うことない。食品は大していらぬ。日本のお菓子などは違う国の友達にあげると喜ばれる。

19. 留学に際し最も役立った本は（専門書，旅行案内書を含めて）

るるぶ、地球の歩き方（北京の）

20. ホームステイの依頼方法

先生に頼めば紹介してくれることもあるらしい。仲良くなった中国人の友達に頼む。私の場合は中学生の時に中国で出会った友達であったため、無錫の方まで行った。

21. 留学費用について

1) 旅費	(往復)	1回目	60000	円,	2回目	45000	円
2) 準備費用							円
3) 大学へ納入する費用							円
授業料 (年間合計)			448000				円
保険等その他の費用			160000				円
4) 住居費 (光熱費等含む)			352000				円
5) 衣服代, その他雑費							円
6) 帰国時の土産代, 郵送料等			2~30000				円
7) 留学先国内旅行費用			約200000				円
8) 上記を含めその他すべてを含めた合計金額			140万				円
現地通貨	1元			日本円換算	20		円

## 22. 帰国時の荷物の作り方, 送り方等

ダンボールで送るが郵便局が遠く、また中身もチェックされるので、スーツケースに詰めて持っていき、郵便局で詰めた。10Kgで200元程。液体と中国語表記のない物は送ることができない（たとえお菓子であっても）。

## 23. 留学して得たこと（全般についての感想文）

全く話せないまま留学に行き、最初は不安でいっぱいでした。生活にはすぐ慣れましたが、授業についていくのが必死で、あまりに理解できない、話せないという状況に友達と会話したり、ご飯に行ったりすることも怖くなったことがあります。しかし日を重ねるごとに授業は理解できるようになり、積極的に友達と話すようになりました。長期休暇でのホームステイは、私の中で最も成長を感じ、中国語への自信になりました。2週間中国語だけの環境で過ごしたことは私にとってすごくプラスになり、またその時に中国の伝統的な旧正月を体験できたことは、誰もが経験できることではないし、すごくいい経験になったと思います。この留学中で、北京にたくさんある世界遺産に行き、秋には紅葉、冬にはイルミネーション、春には桜と中国の四季も感じることができました。また5月の後半には急遽ロシアに行くことにし、一人で領事館に行ってビザ申請をしたり、飛行機を取ったりしました。中国留学中にロシアに行く人なんていないと思いますが、一人でビザの申請が出来る様になった事にも自分自身の成長を感じました。

勉強もたくさんしましたが、それよりも私にとっては一番大切な「経験」をたくさんすることができた留学でした。また何にも変えられない大切な友達もたくさんでき、こんなに帰りたくないと思えるほど充実でき、私に関わってくれた人達には感謝でいっぱいです。もっと語学が上達できればとも思いますが、今回の留学は滅多にできないような経験もたくさんでき、とても満足しています。これを期にこれからも中国語を継続して取り組んで行きたいと思います。